



水俣市立  
水俣第二中学校  
学校便り

# 夢・挑戦

平成30年7月17日  
水俣市立水俣第二中学校  
校長 前田 裕美

## 郡市中体連

最後の最後まで諦めないでプレーする姿、  
全力で応援する姿が随所にあいました！！

- 6月21日の郡市中体連激励式。男子バスケットボール部キャプテンの3年生森下くんが代表で言葉を述べました。



○「(前略) 僕たちは目標を達成するために、練習の時間を大切にする、声を出す、課題を言い合うなどに取り組んできました。僕たちは少しずつ他校のチームに勝てるようになってきました。



弱くて、全く誘いが来なかった僕たちも、練習試合に誘われるようになってきました。練習試合をすればするほど、自分たちの課題が分かり、改善し、チームが一つになっていくのを感じました。」

- 「ここまでこられたのも、僕だけの力ではありません。コーチや先生方に感謝しています。コーチは、仕事が終わった後や休みの日など、僕たちの練習に来てくれました。先生方も、技術面だけではなく、生活面について教えていただいたり、他の学校にお願いして練習試合を組んでいただいたりしました。また保護者は、練習試合や大会等、応援や送迎をしてくれました。どんなに勝てなくても、いつも全力で応援してくれました。」

- 「そして、僕は、仲間に感謝したいです。自分一人じゃできなかったことも、仲間がいたからできました。僕が成長できたのも仲間のおかげです。この仲間と、最後の中体連を迎えることができ、僕は本当に嬉しいです。(後略)」

- そして始まった今年度の郡市中体連大会。全ての競技で、二中生の皆さんの「最後まで諦めない姿」が、そこにありました。



- さらに、今年度は例年にも増して素晴らしいチーム二中の姿が見られました。それは「応援」の場面です。他の部の生徒や保護者の方々や先輩たちが一丸となって声を張り上げて、汗をかきながら、最後の最後まで精一杯応援する姿は、圧倒されるほど素晴らしいものでした。応援の部があったなら、間違いなく二中が優勝したと思います。ある会のあいさつの中で、郡市中体連会長の先生が、「今年度の郡市中体連大会で一番印象に残ったのは、水俣二中の応援です。素晴らしいものでした。」との言葉もいただきました。

- 最後の試合後の森下くんの言葉。「決勝戦で負け、準優勝になりました。この一年間努力を重ね、自分を信じ、仲間を信じて戦いました。だけど、負けたということは、まだ自分たちに足りない何かがあったんだと思います。それを1、2年生たちは見つけて、来年必ず優勝してください。今日まで応援有り難うございました。」



- 全力で戦い、全力で応援・・・この大会を通し、二中生の成長がまた見られました。支えてくださる保護者の方、地域の方、本当にいつも有り難うございます。 ○次は、**県中体連!**

**水泳、空手、軟式野球競技に出場する皆さん、芦北水俣の代表として、精一杯頑張ってきてください!!**

(\*両面あります)

## 生徒総会 二中革新 創ろう 自分たちの手で



6月6日(水)に生徒総会を行いました。生徒総会は、生徒全員の意志を十分に反映させ活動していくための重要な会です。今年度は4月に臨時総会を開いて既にスローガンを決定し、活動を行っています。その意気込みが



充分伝わる各委員会の提案や質疑応答でした。現在、スローガン旗作成も真っ最中です！採決された、執行部及び各委員会の活動方針・年間計画等をこれからも“心を合わせ”て実践し、さらに水俣二中を「自分たちの手で」素晴らしい学校にしていきたいと思います！



### 「心のきずなを深める人権集会」

6月29日(木)には人権集会を行いました。目的は水俣二中の全ての生徒が安心して学校生活を送れるように、いじめ・差別のない、

命と、一人一人を大切にしたい、明るい学校づくりを推進するためです。



各学級では、学級目標を基盤に、人権宣言文をつくり、工夫を凝らした発表をしました。真剣に話を聴き、クラスでまとまって発表する姿がありました。

また、人権啓発ビデオ「リスペクト アザース」を視聴しました。これは、同年代の中学生が書いた人権作文をもとに制作された映像で、自分と他人との関わり、自分自身の生き方の2つの視点から考えさせられる内容でした。



「リスペクト アザース」。同じ人間は一人もいません。違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思います。

人権尊重の社会を作っていくのは、私たち一人一人の考え方によるものです。二中生の皆さんに、その芽が育っている姿をみることができました。

集会後、ある先生が、「まさしく人権集会ですね・・・」とつぶやかれていたのが印象的でした。

#### 【6月は「心のきずなを深める月間」でした】

年間を通じていじめを許さない学校・学級を目指して取り組んでいます。本校のいじめ防止基本方針はホームページに載っています。ぜひ、ご一読ください。

【体罰について】体罰に関するご相談がありましたら、いつでもご連絡ください。窓口は、校長が教頭となっています。

一学期、様々な場面で「二中革新 創ろう 自分たちの手で」と頑張る二中生の姿がありました。保護者・地域の方々をはじめ、関わってくださる皆さんのおかげです。本当にいつもありがとうございます。この暑さも皆で元気に乗り切ってまいりましょう！！

(\*両面あります)